



NPO法人 堺観光ボランティア協会ニュース

5月号(通算264号)
2019年(令和元年)5月1日発行

発行所：NPO法人 堺観光ボランティア協会
理事長 川上 浩
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
(瓦町カピタル4F)
Tel & Fax : 072-233-0531
e-mail : sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL : <http://sakai-kanbora.org/>

令和元年、北の陵に抱かれる紅谷庵 春季堺文化財特別公開にて初公開 荘厳な眺めと心休まる出会い

「ウァー、スゴイ景色や」と大勢のお客様の歓声は、紅谷庵紅陵閣2階からでした。「もうすぐ世界文化遺産に登録されるだろう文化財の反正天皇陵古墳が見渡せます。」と紅陵閣を案内しました。いつもより目線の位置が少し上がっただけで、眺めは荘厳で心休まる絶景でした。



紅谷庵の歴史は、室町時代の大永年間(1521～1527年)に堺大小路在住の豪商・紅谷喜平が風光明媚な三国ヶ丘の地に別荘(草庵)を建てたのが始まりとされています。永生15年(1518)に歌人で連歌師の「牡丹花肖柏(75歳)」が、摂津の池田(それ以前は京都在)から応仁の乱を逃れて来堺、紅谷の世話になり、ここに隠棲しました。以来、紅谷庵と呼ばれるようになりました。

その後、浄土僧・是得(ゼトク)が居住し浄土宗の寺院となりましたが、元和年間(1615～1623)に寺地は金屋伊右衛門の私有に帰し、荒廃しました。安政元年(1854)に和泉郡信太村蔭涼寺のスーパー禅師「環溪密雲」(後の曹洞宗本山永平寺の六十一世住職)が紅谷庵の荒廃を見てこれを惜しみ、一貫五百匁を出金して譲り受けました。一時、密雲が武蔵野の豪徳寺に転任し、再び荒廃しましたが、明治元年(1868)に密雲が山城宇治の

興聖寺に昇任するに及び、櫛屋町に住む土川茂平の支援を得て再興。明治3年(1870)に曹洞宗 天皇山紅谷庵と公称しました。

牡丹花肖柏は、文明7年(1474)前後、宗祇に師事し和歌・連歌を学び、同13年(肖柏37歳)、宗祇より古今伝授を受けました。紅谷庵では、当時裕福で経済力のあった堺の商人に和歌や連歌の指導を始め、宗祇から始まる古今伝授を堺の門人に伝え「堺伝授」と呼ばれるようになりました。

今回の初公開のお寺に相応しく、堺春季文化財特別公開の期間中、何と、ご本尊の牡丹花肖柏の持仏であった、十一面観音菩薩像を拝観させて頂くことになりました。仏像は可愛らしく(身丈30cm程)、内陣奥に安置されて、多くの参拝者をそっと見つめておられました。まさか、当時のご仏像が実在するとは思っておりませんでしたので、私たちも驚きと感激で、大きなご褒美を戴いた気持ちでした。

牡丹花肖柏の肖像画コピーのパネルをお客様に見せながらご案内し、紅谷庵と牡丹花肖柏



の関係を知って頂けたことは、文化財公開に役立てたように思います。パンフレットでは本堂公開が初日のみとなっていました、2日目もお寺様のご厚意で本堂を公開して頂きました。

三日間通して大勢のお客様をご案内し、メンバー3人、少々声を嗄らしてしまいましたが、心地良い疲れと、満足感を味わいました。お寺様はじめ、関係各所の方々にお礼を申し上げます。

(山田 豊秋)

◇ 花冷え、冷雨 虹が立つ “春季堺文化財特別公開” 【柿澤 和代】

「春爛漫 さかい旅」春季堺文化財特別公開期間中の3月29日～31日、予想では桜が見頃、春の堺を満喫いただけるものと思っていたが、寒さのぶり返し、午後には雨に祟られ、ミニガイドや野外での案内に、難渋しているのではないかと、無念の空を見上げる。

でも、過去何度も悪天候に見舞われた経験から、観ボラは強くなった。旧天王貯水池に至っては、雨を凌ぐ場所もない。案じていると「大丈夫、雨が激しくなったら貯水池のドームの内に入るから…」と笑顔で応える。他の公開場所でも、ディレクターやスタッフが、黙々と、寒さや雨に耐えながら工夫を凝らし任務についてくれているのかと思うと、花冷えにもかかわらず胸が熱くなる。帰路の途中、法雲寺呈茶チームから「雨が降ったおかげで、きれいな虹が見えた」との報告。何事も前向きにとらえる姿勢と「泣く子と気候には勝てぬ！」と達観した仲間に救われた今春の文化財特別公開であった。

せめて、みんなに報いるには美味しいお弁当をと、遊撃隊が、準備万端、効率よく兵糧配達に努めてくれ、皆の口とお腹を満たしてくれたのではないだろうか？

午後からは華美芝居部隊に変身した遊撃隊！超善寺の境内で同寺のご本尊、阿弥陀如来様にまつわる「後追い如来」の華美芝居を披露、3日間とも大勢のお客様に観ていただいた。



大坂夏の陣で戦火を逃れ、背中に担がれ避難されることになった如来様、途中、落武者に出会い、仏の代わりに自分を担げと無理難題、もったいなや、如来様を道端に打ち捨てざるを得ない悔しい超善寺の和尚様たち、ふと見ると如来さまが後をつけてこられていたというお話。

公演中、迫真の演技にお客様から「いよ～！」と大向うの掛け声をいただくことも・・・

堺区での初公開、紅谷庵。美原区での初の文化財公開の試み、法雲寺の伽藍と圧倒的な宝物、まだまだ未公開の堺の文化財の奥深さを知らされた今春であった。

平成の桜が咲いて散っていく・・・新しい時代は、どのように咲くのだろう。

“さまざまなこと 思い出す 桜かな” 芭蕉

“春季堺文化財特別公開” 関連記事を14ページから掲載しています！

☆ 5月号 インデックス (目次)

巻頭言「春季文化財特別公開 紅谷庵」	P 1	企画部	P 7
特 集「特別公開・虹がたつ」	2	定点ガイド部	8
<各部ニュース>		広報部・インフォメーション・ガイド MEMO 他	12
事務局	3	《特 集》「春季文化財特別公開の模様」	14
総務部	4	《あらかると》ガイド豆知識	21
研修部	6	トピックス「檜塚古墳」「だんじり春の陣」	22
事業部	6	【2019年5月度月間予定表】	24
ツアーガイド部	7	〔平成31年3月 活動実績と内容〕	25

事務局ニュース

◆ 理事会・運営委員会報告

- ・平成31年4月1日(月)堺市総合福祉会館にて開催。
- ・理事会を13時20分から・運営委員会を14時から。

★「理事長報告」

阪堺線活性化懇話会での報告事項でのニュース

- ・昨年9月の台風21号で吹き飛んだ大小路電停の修理は6月着工、7月末完成予定。
- ・南海線高架工事に伴う阪堺線船尾終点案は、南海線に沿って山側に線路を敷き、浜寺公園駅の東側に阪堺線の電停を造ることに決定。
- ・低床式車両は茶ちゃ、紫おん、青らん、に続き4両目が導入される。
2019年製造、2020年春運行開始予定。
- ・今までの費用負担(国2/6、堺市4/6)。今回の費用負担(国2/6、堺市1/6、阪堺3/6)。

協会員からの意見への返答

- ・英語のパンフレットへの古墳案内追加、「パンフレットは3ヶ月に一度くらい変更しているので次回は検討します」との返答。

◆ 理事会(開催:4月1日)

議事内容は、以下のとおり。

(決議事項)

★「ちくちく会に後援名義を使用許可」を与える件」

- ・後援名義使用の承諾。
- ・事業内容及び同会との以前からの関係及び他団体の後援状況を考慮。
- ・2019年事業「第5回さかい三好奉り(まつり)」関連事業に後援名義の使用を許可。

<行事内容>

① 行事:「甦る三好長慶公465遠忌」

日時:7月6日(土) / 場所:南宗寺

第1部「法要及び奉納演舞」 9時15分から

第2部「追善記念奉納演舞と講演」11時10分から

② 行事:「第8回歴史ウォーク」

日時:9月14日(土)10時から / 場所:南宗寺

③ 行事:「第10回堺・ちくちく会公開学習会」

日時:11月16日(土)13時30分から / 場所:開口神社

☆「役員立候補受付」のお知らせ

- ・新年度は、役員改選の年ではありませんが、欠員補充のため立候補を受付。
- ・補充する役員は、理事1名、運営委員1名。

◎ 希望者は、事務局あてに提出

- ・5月4日(土・祝)から8日(水)までに。
- ・観ボラオフィス備え付けの「役員立候補申込書」に、
必要事項(理事を含む5名以上の正会員の推薦が必要)を記載。

※ 運営委員会における各部からの活動報告は、各部門のニュース欄を参照願います。

◇ **各部門からの連絡・報告**

総務部ニュース

☆ **会員の状況**

- ・ 4月の会員の移動は、ありません。
- ・ 5月1日 現在
正会員数 237名、休会会員数は6名、賛助会員数は8名、総会員数 251名。

☆ **「第12回通常総会」のお知らせ**

- ・ 「第12回 通常総会」の開催
- ・ 日時：6月4日（火） 午後2時より / 堺市総合福祉会館にて
- ・ 会員の方は、出席を！（万一欠席の場合は、委任状を提出願います。）
- ・ 案内は、5月20日頃に発送（当日は、制服・名札を着用）

☆ **“活動ありがとう賞”の授与**

- ・ 対象：協会活動を月平均で10回以上（期間は、平成29年10月～平成30年9月）の方
ご家族の支援もあって沢山活動いただいた事と感謝して‘活動ありがとう賞’
（ペアー食事券）を準備しました。
- ・ 対象の67名の方に通常総会で授与。

☆ **「もしものための安心連絡カード」の作成と携帯のお願い**

- ・ 協会活動時の健康管理のために「もしものための安心管理カード」
（堺市社会福祉協議会製の様式借用）にご自身の健康状態を記載して、
- ・ 協会活動時に会員証と一緒に携帯してください。
- ・ 提出する必要はありませんので速やかに実施をしてください。
- ・ 様式は、5月の協会ニュースに同封。

☆ **「交通費の振込みと2019年度上期会費の徴収」の連絡**

- ・ 交通費の振込：5月20日までに会員の登録口座に振込（3月と4月分）。
- ・ 会費の天引：2019年度上期会費を、5月振込みの交通費から天引きします。

※ 天引きできない方には、別途、請求書をメール又は郵送で送付します。

*切られてしまった楠

【北野 一歩】

東区南野田の野田城跡の近くの西除川沿に樹齢四百年の大きな楠がありました。四月一日に伐採されました。去年の台風で枝が折れて近くの屋根に落ちたそうで、今後のことも考えて切ることにしたそうです。ちゃんと神職様に御祓いもしていただき、丁寧に切られました。

この木には神様が宿つていと言われ、祠にはお供え物が欠かさず供えられていて、手を合わせていく人もたくさんいて、それはそれは地域の人のよりどころとなっている木でした。

考えてみると、四百年もの間あの場所で生きて野田という村を見守ってくれたのかと思うと感慨深いものがあります。いつも見上げていた大きな木がなくなつて寂しい感じがしますが、根と祠は残されています。機会があれば立ち寄ってみてください。

追悼のことば

小野勝善さんをしのぶ

【 21 会代表・矢木 隆史 】

21 会の小野勝善さんが 2 月 21 日に亡くなりました。我々が知ったのは一か月あとでした。おそらく誰にも知られずに静かに逝きたいとの故人の意向があったのではないのでしょうか。

小野さんは総務部で活躍されており、みんなが将来的に総務部をリードすると期待していただけにショックは大きなものでした。

彼は物静かなタイプで、且つ博識で何でもよく知っておられました。人と話していてもその博識さを振りかざさず、相手の話をニコニコとよく聞いておられました。私には石田三成と大谷吉継の命を懸けた友情について話してくれたことが印象として残っています。難病の吉継の盃をみんなが嫌がる中で三成が平然とそれを飲み干した話です。物静かな小野さんがその友情に強く動かされていたのは、繊細な感受性と温かい心を備え持っておられたからではないのでしょうか。

21 会・会員は今年 8 月で観ボラ活動 10 年を迎えます。会員が 10 年表彰を受ける姿を遠くから微笑みながら見てくれていることでしょう。

ご冥福をお祈りいたします。



追悼のことば

いちご会（1期～5期）を代表して

【 呉竹 正 】

阿部ちゃん

突然だったんだってねえ！訃報に接したのは泉佐野観光ボランティア協会の研修で姫路城に行ってた時でした。お通夜には間に合わなかったけど、辻定子さんとお花いっぱいのお葬式に参列させていただいて、ちゃんとさようならのお別れを言ったよ。返事してくれなかったけど、聞こえてたでしょう！

阿部ちゃんとの出会いは、阿部ちゃんが会員の出勤票を持ち帰って、1 週間も掛かって交通費計算されていたのを見かねて、拾い出してくれたらパソコンで計算してあげるよって申し出て、毎月毎月データを取りにおうちまで行きましたね。何か月続いたかは思い出せませんが、そのうちコンピューターで全部できるまで 2 人 3 脚でしたね。

ボランティアガイドで一緒にした記憶はあまりありませんが、新年の会や研修会ではよく一緒にしましたね。もう阿部ちゃんのハーモニカが聞けなくなってしまってとても残念だけど、頑張って阿部ちゃんの分までボランティアを続けてゆきます。

本当にありがとうございました。ご冥福をお祈りいたします。合掌



研修部ニュース

☆ 全体研修会「古市古墳群の魅力を語る」を実施

- ・日時：5月9日（木）午前10～12時と5月16日（木）午後2～4時に。
- ・場所：堺東の高島屋堺店駐車場向かい側の東洋ビル4階7号室（1階に浜学園）。
- ・講師：元藤井寺市文化財課の天野末喜氏
- ・演題：「古市古墳群の魅力を語る」。

＜詳細は、同封のお知らせプリントで＞

※ 申し込みされた方は、お忘れずに参加を！

☆ 29期生募集「広報さかい4月号」に掲載。協会HP、募集案内チラシでのPR

- ・入門講座説明会：4月14日（日）17日（水）に実施。参加者22名。
- ・開講式：5月8日（水）

《29期生入門講座・5月度の日程》

日	曜	講座内容	開始時間	実施場所
8	水	開講式	13:30	堺市総合福祉会館 第2会議室
10	金	座学	13:30	堺市総合福祉会館 第3会議室
15	水	定点実施研修（前期）	13:30	市役所21階展望ロビーと大仙拝所前
22	水	定点実施研修（前期）	13:30	
23	木	定点実施研修（前期）	13:30	

事業部ニュース

☆ 各プロジェクトの活動

＜華美芝居部隊＞

（公演済み）

- ・4月20日（土）大鳥大社の「花摘祭」／4月29日（火）妙法寺の「開山守護神祭」

（公演予定）

- ・5月5日（日）開口神社の「さつきまつり」
- ・5月29日（水）開口神社と山之口商店街での「白桜祭」

＜音曲組＞

- ・随時練習中

＜JA堺市「CROP」＞

- ・4月8日（月）に「堺区海山町」を取材／5月13日（月）に「中区檜葉町」取材予定

＜呈茶チーム＞

- ・4月20日（土）大鳥大社の「花摘祭」にて 呈茶もてなし

＜鉄砲鍛冶屋敷調査＞

- ・4月25日（水）「鉄砲鍛冶屋敷調査」を実施

＜イベント工房＞

- ・期末期棚卸しを実施中

ツアーガイド部ニュース

★ 「春季文化財特別公開」時のミニツアー実施

- ・ミニツアーの担当をツアーガイド部が中心で実施。
- ・大仙公園の古墳と桜めぐり、初公開の紅谷庵や海会寺、美原区の法雲寺と黒姫山古墳の4コースを、3日間で4コース合せて参加者 281 人。

★ 第29回「堺新発見ツアー」を行う

- ・4月7日(日)に JR 堺市駅集合、参加者 11 名で実施。
- ・見学場所は、堺アルフォンス・ミュシャ館（同館学芸員の案内）と旧天王貯水池と堺市役所の展望ロビー。

★ 「小学生社会見学案内の勉強会」の実施

- ・4月15日(月)、16日(火)に「勉強会(小学校3年生対象)」を市役所展望ロビーにて。
- ・28期生を中心に15名の参加で実施。
- ・昨年度の案内は、56校で生徒数総数4,389人。担当ガイドは、延べ138人。

☆ 「古墳めぐり勉強会」の実施

- ・百舌鳥古墳群南西部の古墳めぐり（大塚山古墳や乳岡古墳など）。
 - ・6月11日(火)、9時30分にJR上野芝駅に集合、解散12時30分予定。行程約5km。
- ※ 参加される方は、「活動予定表の各種予定欄」に「○」記入。

★ 平成31年4月度ガイド実施報告（敬称略）

総件数：59件 / 案内の総人数：2,353人 / 派遣ガイドの総人数：99人

※ 「ガイド実施報告」「VR体験ツアー実施報告」の掲載について

今月号は、別紙にて掲載していますので、ご覧ください。

企画部ニュース

◇ 「広域連携」関連

☆ 「南海・歴史探訪ガイドウォーク」の開催

- ・広域連携ガイドウォーク実行委員会を3月18日(月)開催。
- ・堺観光ボランティア協会主催
- ・5月26日(日)開催の第1回「家康の命を救った木地屋の夕雲開き」を打合。他の各団体より1～2名の応援スタッフを依頼（当協会のスタッフを最小限に）。申込み：4月19日(金)～5月21日(火)必着。
「広報さかい」4月号に応募要領を掲載。

※ オフィスの皆さん「応募ハガキの受入れ」を宜しくお願いします。

⇒次ページへ

☆「大阪・奈良歴史街道リレーウォーク」の開催

- ・2019 年第 5 幕のチラシが完成。
- ・堺観光ボランティア協会主催の 2020 年 3 月 18 日（木）開催の概要記載。
- ・第 8 回「堺伝統産業の製造現場と利休・晶子が愛した銘菓」行程 6 km。

※チラシ必要な方は、企画部山田まで

☆「日本遺産」関連

- ・イベント開催の打合：3 月 14 日（木）、10 市町村 11 団体が出席。
- ・「竹内街道・横大路 ～難波から飛鳥への最古の‘官道’～」活性化実行委員会が開催。
- ・2020 年 2 月後半～3 月前半、ウォークを各団体同時に開催
- ・チラシ「竹内街道・横大路大道 お楽しみ」を、協会ニュース 5 月号に同封。

☆「世界文化遺産推進運動」への参画

- ・「イコモス勧告内容、世界文化遺産登録後の課題」勉強会を開催。
- ・講師：堺市世界文化推進室の方。
- ・6 月 14 日（金）／1 部は、午前 10 時から／2 部は、午後 2 時から
- ・会場：堺市総合福祉会館 第 3 会議室
- ・定員：午前、午後とも 50 名
- ・参加希望：6 月活動予定表「各行事予定表」に‘○’を記入。

定点ガイド部ニュース

☆「晶子フォーラム 2019 ～時代を超える晶子源氏～」の開催

- ・『新新訳源氏物語』完成 80 年記念晶子フォーラム 2019～時代を超える晶子源氏～
- ・5 月 25 日（土）～6 月 2 日（日）。
- ・場所：ホテルサンプラザ堺アネックス及びさかい利晶の杜。

<さかい利晶の杜> ご期待ください。

- ・5 月 26 日（日）朗読「私の生い立ち」
- ・5 月 25 日（土）～6 月 2 日（日）イベント関連ギャラリー展「アートで彩る晶子の姿」
- ・5 月 25 日（土）～6 月 16 日（日）同時開催企画展「与謝野晶子を支えた実業家たち」
- ・6 月 1 日（土）鼎談「与謝野晶子短歌文学賞を振り返って」、

☆「大仙拝所前 5 月からの定点活動」について

- ・大仙拝所前では、5 月の連休とイコモスによる評価結果の勧告発表が続き多数の観光客の来訪が予想されます。
 - ・増加する観光客への対応として 5 月 1 日より定点ガイドの方法・手順を変更します。
- ※ 詳しくは同封の資料をご覧ください。

★「全体部会」を 4 月 12 日（金）に実施

下記は、各定点の 3 月の「日誌」から抜粋したものを掲載。

⇒ 次ページへ

〔 A グループ (川上由)〕

*** 堺市役所 21 階展望ロビー (担当：平野・大北・南野)**

- ・アゴーラリージェンシー堺に宿泊中の親子。貸出中のロボホンを使用されていたが、途中で電池切れして喫茶店で充電されていた。電池切れが早いのでは？
- ・大阪の男性、仁徳天皇陵古墳拝所前のボランティアの方に勧められて来ました。「堺全体が見事に見える絶好の場所」と喜んでおられました。
- ・お客様から荷物を預かってほしいと言われたが責任が持てないのでお断りしました。

※ 大きな荷物の対応はどうすればよいですか？

⇒ 荷物の預かりはお断りの上、堺東駅改札口のコインロッカー（高島屋入口の左側と旧ジョルノ方面の手前）を案内してください。

*** 堺駅観光案内所 (担当：重永)**

- ・香港からの女性を晶子生家跡、開口神社、ザビエル公園、堺伝統産業会館まで案内しました。一人で行けない所に案内してもらって良かったと喜んで下さいました。

*** 大仙公園観光案内所 (担当：川上由・堀・江川信)**

- ・名古屋市からの男女2名。仁徳陵古墳の大きさにびっくりされていました。しっかり守ってきた日本人の素晴らしさに誇りを持つと言っておられました。
- ・札幌で観光案内をやっている男性。堺市博物館を見て来られ、多岐に渡り質問がありました。十分満足していただけたと思います。札幌の観光ボランティアは40名位との事。
- ・ミニツアー大仙公園古墳めぐりコースをご案内。今後ホームページを開設し、世界に発信すること。写真を撮って帰られました。

〔 B グループ (戒田 啓二)〕

*** さかい利晶の杜 (担当：松村・柳)**

- ・堺ゆかりの人の案内板。小学生の男の子に誰か知っている人いますかと尋ねたところ、千利休を押してくれました。
- ・さかい待庵に行く途中の木々の名前が分かりませんでしたがお客様がご存知でした。木に名札をつけてもらえるとありがたいです。

⇒ 図面の作成を検討して頂きます。

- ・晶子さんがシベリア経由でヨーロッパに行った時のパスポート展示でNHK大河ドラマ「いだてん」でも同じようにパスポートが出ていたと紹介。1912年オリンピックストックホルム大会。

*** 千利休屋敷跡 (担当：辻・梅影)**

- ・東京からロボホンを連れた女性が来られました。ロボホン愛好家が全国にいて、堺のこの取り組みが始まったので、行ってみようとなんが話題にしているとの事。ロボホンが話すのを聞かせてもらいました。利休屋敷跡・利晶の杜などの話をします。また大浜公園に水族館や少女歌劇があり、にぎやかであったとか、しかも今また復活して活動していることまで話しているので、ビックリしました。
- ・堺の女性、働きに来ているインドネシアからの男性3人と日本の子供2人を案内して来られた。ジャンケンの木、インドネシアでは‘カム・イン・ハサミ’というそうです。
- ・北海道から来られた初老の女性。近郊の利休関連の旧跡はすべて廻られるとか、熱心な方でした。また、沖縄からの女性は自宅に茶室も作っている裏千家の方でした。

＊ 山口家住宅（担当：今村・西岡英）

- ・東京からのご夫婦。SAKAINOMA Residence 錦に宿泊。堺はおもしろそうと言われた。
⇒ SAKAINOMA Residence 錦は、大道筋歩道から奥に入っていますので分かりにくい
ようです。ビリヤード店の隣です。
- ・香港からの3人のご家族を英語でご案内。京都・大阪・神戸を6日間でめぐる旅。
明後日に帰国する予定。堺は、山口家住宅のみ訪問との事でした。
- ・堺からの4名の女性グループ。いくつになってもお雛様はいいのを見たいと思いこの
の辺を見えています。

＊ 清学院（担当：澤井・林茂・佐野）

- ・堺市内からの女性2名。ロボホンを持って来られた。「清学院は登録有形文化財に登録
されています。」としか言ってくれませんでした。ひな人形や寺子屋の机の上にロボホ
ンを置いて写真を撮っておられました。
- ・近所の女性2名。河口慧海さんのことは知っておられたので、元和の町割りと風間六
右衛門の事を話して現在の街の様子を思い描いてもらいました。
- ・豊中からの方。仕事の休みが取れたので一人で堺の名所巡りに。各所にガイドさんが
いて歴史の繋がりが良く理解できて助かりましたと。

[C グループ（上野 数男）]

＊ 南宗寺（担当：中西慎・澤野・大橋）

- ・新潟からの男性。親類の方がお茶会で南宗寺に良く来られるとの事。家康の墓の前で
松下幸之助の名前を見つけて、その方の祖父が幸之助のお世話をしておられ天皇陛下
と対面する時のTV放映で、車椅子を押して写っていたと懐かしく語っておられた。
- ・千葉からの夫婦。ご主人が堺出身で南宗寺は2回目の訪問。新書「堺―海の都市文明」
を読んだ。総門から受付までのアプローチは風情があって大好きになった。
- ・堺からの親子連れ。案内中に「秀忠」と言ったら、小学6年生の歴史マニアの子が、
すかさず「2代将軍」と答える反応ぶりに驚いた。

＊ 妙國寺（担当：小出・箕野）

- ・京都の宇治より西村佐平次の兄にあたる血縁の末裔が拝観。堺事件の事は、親にも聞
いていたとの事。
- ・長野からの男性。先祖の書いた日記に妙國寺が出ていたので来た（文久年間のもの）。
蘇鉄の件も記載していたので、改めて感動された。
- ・大阪からのご夫婦。信長公寄進の不思議なアワビ貝の経文の案内をした後にじっくり
見学され「見えた」と感動されていた。

＊ 堺伝統産業会館（担当：奥野）

- ・千葉県からの男性。8日間の予定で関西独り旅。堺は歴史、文化、産業と色々な事が
学べ、魅力がある町でたくさんの観光資源に恵まれていると感心しきりでした。
- ・韓国からの団体。ちょうど和菓子の実演中で、ガイドさんが「和菓子作りの名人」と
ツアー客に伝え、多くの方が試食して「とてもおいしい」と。

＊ 自転車博物館（担当：大橋・溝）

- ・加東市からの家族連れ、小学校 6 年の社会科教科書に堺の自転車博物館の記載があり来館された。
- ・堺市内の元自転車部品メーカー社長。ボルト・ナット類の堺の自転車部品メーカーへの納入は厳しかったが品質管理レベルの高さが世界で評価されていると思う。納入メーカーも加工精度・寸法公差など技術レベルが上がったと感慨深く語っておられた。日本人の技術に誇りを持っておられた。

◇「町家歴史館勉強会」に参加して

【中川 辰夫】

3 月 19 日（火）に定点ガイド部主催の「町家歴史館勉強会」が午前午後 2 回に分けて行われ、41 名の会員が参加しました。講師は、堺市文化財課で山口家住宅と清学院の保存を担当されている岡本氏。会場は山口家住宅の奥座敷でした。

「山口家住宅」は、江戸時代の初期に建築された町家で、堺大空襲による焼失からも免れて、昭和 41 年には国の重要文化財に指定されています。建物の増改築時期は 3 つの棟札が残されており明らかになっていますが、初めに建てられたのは江戸時代の何年かは判らないとの説明がありました。ただし建てられた時の柱や梁は台鮑ではなく、鉾(チョウ)仕上げであり、江戸時代初期の建物であることは間違いないとのことでした。鉾の実物もみせていただきました。この道具と実際の建物の仕上げの痕跡をみながら、江戸初期にタイムスリップしたような実感を味わった次第です。

「清学院」について説明があり、三つのポイントを念頭に入れてほしいとの注意がありました。

第一は、清学院は修験道の寺院であるということで、元禄二年の「堺大絵図」にも「山伏清学院」と記されており、庶民信仰の場でありました。

第二は、「清光堂」という寺子屋が営まれていたということ。

清学院の寺子屋資料は、江戸時代の堺の庶民教育を検証する上で大変貴重なものです。第三は、河内慧海は寺子屋「清光堂」で学んでいます、日本人よりも外国人に著名であり、慧海の著書「西藏旅行記」はヒマラヤ登山者のバイブルになっているようです。もっと日本人に知ってもらわなければならない人物であるとの思いを強くしました。



今回の勉強会を通じて、堺の町家歴史館として貴重な文化財である「山口家住宅」と「清学院」の知識を深めることができましたので、今後のガイド活動に活かしていきたいと思います。

また、知識面での研鑽に励むとともに、堺に来られた方に堺のよさをお伝えし、一人でも多くの方に堺ファンになってもらえるようご案内していきたいです。

広報部ニュース

☆ 全体研修会「百舌鳥古墳群の映像」

- ・堺市博物館での全体研修会(3月5日(火))開催)の映像をDVDで貸し出しできるようになりました。
- ・公開講演会「堺から仏教を変えた行基さん」の映像も近々公開(2月20日(水)開催)。

☆ 協会ニュース「季刊誌」の発行

- ・2019年7月より、年に4回「季刊誌」を発行。
- ・特集記事、投稿記事、トピックスなどを、春4月号・夏7月号・秋10月号・冬1月号で。
- ・毎月の協会ニュースは、各部の連絡、予定、報告と関連記事になります。

※ 今後とも原稿記事のご協力を、宜しく！

《インフォメーション》

◇ 語学同好会のご案内

「百舌鳥・古市古墳群」の世界文化遺産登録に向けての活動が進んでいます。

来堺される外国の方々に 外国語で堺のまちを紹介しましょう。

会の名称	開催日		開催時間	開催場所
・英会話サークル	5月	15日 (水)	14:30	利休屋敷跡 (※制服・名札を着用)
・韓国語同好会	5月	9日 (木)	10:00	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	5月	16日 (木)	9:45	堺市立国際交流プラザ6階会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接、会場で申し込みください。

新入会の皆さんも、奮って参加して下さい。

《ガイド便利MEMO》

◇ 施設の5月の休館日(休園日)について

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	7日・14日・21日・28日
・堺アルフォンス ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	7日・8日・9日・13日・20日・27日
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	7日・13日・20日・27日
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	13日・20日・27日
※ VRツアー・古墳シアターは、月曜日 観覧できます。		
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	7日・13日・20日・27日
・堺伝統産業会館	無 休	
・さかい利晶の杜	(休館：毎月第3火曜日)	21日 ※ 観光案内展示室のみ観覧可。



◇ J : COM堺「堺シティレポ」5月の放送予定

- ・5月のJ:COM堺の「堺シティレポ」放送予定(堺市広報部より)。
- ・放送された場所に行く方法や概要などに、注意を。
- ・『J:COM堺 11チャンネル 15時00分～15時15分、22時15分～22時30分』。

※ 特別番組などで放送時間・内容を変更・休止する場合あり。

過去の番組は、市ホームページにも掲載あり。(一部を除く)。

《2019年5月分》

放 送 日	番 組 名
5月1日(祝) ～ 17日(金)	守り育てよう 堺の豊かな自然 (7)
18日(土) ～ 31日(金)	世界に開かれた国際都市・堺をめざして (6)

※ 最新の番組名は、堺市ホームページ内「堺シティレポ」のページで。

http://www.city.sakai.lg.jp/shisei/koho/koho/sakai_city_repo/index.html

◇ 堺市・関西大 共同情報提供



江戸時代の鉄砲鍛冶は年商3億円 堺市と関西大が古文書から解明

堺市と関西大は17日、江戸時代前期に建てられた鉄砲の生産現場として全国で唯一現存する市内の鉄砲鍛冶屋敷の古文書を分析した結果、最盛期の年商は約3億円だったと発表した。報告書をまとめた藪田貫・関西大名誉教授(日本近世史)は「鉄砲ビジネスの実態が初めて分かる貴重な資料だ」と話している。

堺で1660年代には鉄砲鍛冶をしていたとされる井上関右衛門家の屋敷に残された2万点以上の古文書を調べたところ、鉄砲の注文や支払いを具体的に記した帳簿「萬覚(よろずおぼえ)帳」61冊を発見。慶応2(1866)年には鉄砲469丁を販売し、売り上げは3029両(約3億円相当)だったことが判明した。

報告書によると、井上家は全国各藩の仕様に合わせるなどして多様な鉄砲を作り、通説では業界全体が斜陽化したとされる江戸時代後期に、徐々に売り上げを伸ばしていた。今回の調査では、日本最大の軍事拠点だった大坂城で鉄砲の維持管理に関わっていたことも分かった。

堺市堺区にある鉄砲鍛冶屋敷は、市が今後整備を進め、2023年に一般公開される予定。

【矢追健介】

春季堺文化財特別公開 特集

春季堺文化財特別公開が3月29日(金)、30日(土)、31日(日)の3日間に亘って行われ、堺市内外の大勢のお客様に堺にあるたくさんの文化財の素晴らしさを味わって頂きました。

文化財のご案内役を担ったのが、私達「堺観光ボランティア協会」の会員です。真摯懸命に文化財の価値をお伝えするとともに、私達もまた、悠久の歴史の中に浸る喜びを感じさせて頂きました。

その喜びの声や苦勞の一端を担当者に語って頂きます。

* 春の文化財公開 初公開法雲寺にて

【岡崎 形成】

3月29日、30日、31日の3日間、春の文化財特別公開が美原区の法雲寺で行われました。

毎年ツツジの満開の時に来られるお客さんも今回大殿や開山堂、方丈、慧極殿(エゴクデン)など中に入れて、詳しい解説付きですので大変感激されていました。



特に慧極殿には小田原の北条家5代の掛け軸が五幅かかり、敗れた関東の北条家が美原・大阪狭山に江戸末期まで狭山藩として12代続いていることの説明をしています。

それから大殿の3,333体の黄金の仏像、1672年に慧極道明禅師が開山した黄檗宗の禅寺。美原の歴史的なことを大変熱心に聞いていた方もいました。

また方丈での呈茶も人気で多くの方が利用されました。最後にお客さんが「お庭の手入れが非常に素晴らしい。」と感心をされていまして、「5月のツツジの満開のころにもう一度来てみたい。」と言われて帰られた方も多くいました。

* 法雲寺 呈茶

【瀧口 厚子】



四半敷の石敷に導かれて、広大な寺院空間の中、方丈にたどり着きます。まさにたどり着くという感じです。今回私たちは、かつて普茶料理(フチャリョリ)や茶礼で賑わったであろう、方丈と奥の厨房のお道具など、丸ごとお借りしての呈茶。お寺様のご好意に甘えさせて頂きました。

さてさてお菓子は・主菓子に白餡(白餡用の豆を総じて隠元豆と言うそうです)をお願いして、“春ひとひら”とし、おそれおおくも隠元禅師にあやかり、一椀はちょっと熱めにとの合言葉で、気まぐれな春のお天気に合わせました。

お客さまは広い境内を堪能され、ほっと一息に呈茶にも足をはこんで頂きました。特に近在の方々や、檀家様から、平生のお寺さまのお話など楽しくお聞きして、美原の地に愛されるお寺さまと感じ入りました。法雲寺様、有難うございました。

境内の配置ガイドの皆様、呈茶へのご協力有難うございました。

* 鉄砲鍛冶屋敷敷春季文化財特別公開を終えて

【 土井 健一 】



前年秋に続く全日の公開でしたが、客数も落ち着き混雑は例年よりましになりました。関西大学のセミナーのお陰か、外国人や大洲市、国友からも見えられ、中には六月に実施予定の東京のセミナーに参加したいと云う方も居られました。だんだん全国に知れ渡った鉄砲鍛冶屋敷になって来た事を感じます。

江戸後期に

は、五鍛冶と呼ばれた榎並、芝辻五家を凌ぐ堺一の鉄砲生産と大名諸家の取引数を誇る証拠の御用札などと共に、特別展示の陣羽織は井上家の八つ鷹紋に大洲藩主の蛇目紋が入った物で、仏壇に祀られている大洲藩主の位牌とを考えると、藩主加藤家と井上家の関係の深さは並の家臣ではない事を窺わせます。皆様は非常に驚いていました。

ガイドは日頃から井上家文化財の調査に携わっている関係から、身体に浸み込んだ知識で案内しますので聞く皆様も理解し易かったのではないのでしょうか。小雨も降る少し肌寒い天候でしたが、良い特別公開が出来ました。



* 妙國寺

【 平岡 敏雄 】

朝、蕾だった妙國寺境内の桜花が小雨の間の陽光で少しづつほころんでいった3月31日(日)に私は文化財特別公開のご案内を担当しました。お客様の出足は、午前後半から好調になりました。東京から関西への出張ついでに寄った堺が、偶然この特別公開であったと喜んでいただいた方、この春秋の公開を毎年心待ちにされている方等、初めてのボランティア案内でドキドキしている私も妙國寺は大きく迎え入れてくれました。

特別公開時は、方丈の襖が4面とも外され、枯山水の庭がパノラマ状に眺められるようになっており、一杯に広がる庭をご覧頂きながら、「夜泣きの蘇鉄」、「駿河国の景色を模した枯山水庭園」、更には「宝物資料館」と、ご案内することが沢山ありお客様にも大いに喜んで頂けたと思います。



妙國寺パンフレットに紹介されている“御柳（春には枝先に美しい桃色の花を咲かせ、古来より観賞用に栽培され、楊貴妃も愛したと言われる花）”の蕾は、まだ早いようでした。ぜひ今春は、桃色の花に会いたいものと思い、妙國寺を後にしました。

* 宝珠院

【 矢木 隆史 】



屋外案内のため寒さもさることながら、二日目の雨には閉口しました。妙國寺を先に訪れた方はそこで堺事件の話を聞きこちらへ廻って来ていたのですが、「普段は締まっているので…」と堺の方、特に近隣の方が目立ちました。宝珠院幼稚園のOB、OGの方も多くおられて、懐かしそうに園舎の建物を眺めておられました。

お墓等の朽廃がかなり進み、見る者が誰しも何とかしなければならぬと感じます。2月23日の法要時にブルーシートで覆われていた「嗚呼忠烈碑」

が、この特別公開の時には撤去されていました。切腹を免れた土居八之助や西村佐平次の友人の谷干城らが中心となって建立した慰霊碑です。堺市職員の話では修復中とのこと。法要でお墓に御参りに来られた市長を案内した当協会員が、碑の修理の必要性を市長にお願いした結果であると分かりました。

* 超善寺を担当して

【 中辻 絹子 】

「戦災後の焦土に花を！」との悲願を込めて植樹されたという桜の名所：超善寺は、花冷えの影響からか公開初日の桜は3分咲きでした。

超善寺は浄土宗・知恩院に属し、関東武士房総の千葉一族の東六郎太夫胤頼が法然上人の弟子となり、下総国内に多くの念仏信徒を生み、室町時代に、一族の臼井惣右衛門守胤の息子存誉上人が堺に超善寺を開創しました。

3日間で拝観者は400名を優に超えましたが、リピーターの方が目立ち、超善寺ファンが多いことを知りました。

薄桃色に包まれた境内では戦災復興・市民安寧を願っての堺千駄大黒天、裾取地藏が沈められていた超善寺井、酒造りや茶の湯に用いられ、汲み上げの時のロープの跡が残っており、当時の様子が伺えます。

本堂では本尊阿弥陀如来坐像、大阪夏の陣の頃、浄専上人がご本尊を背負って河内大ヶ塚（ダカヅカ）善性寺へ逃れたと言われています。その後火災で頭髪とお顔に焼損、上品上生印（ジョウホウジョウシウイン）を結び、結跏趺坐（ケツパズ）された89.2cmの寄木造の仏様に結界の前で静かに手を合わされるお客様の姿が印象的でした。



堺市と友好提携都市連雲港市の王宏喜氏献納の「三国聖賢図（襖絵、屏風絵 12 面）」は三国志の場面が描かれています。私達はこの日の為にしっかり勉強し、熱の入ったご案内となりました。特に「三顧茅廬（サンポロウ）（三顧の礼）」の場面では、諸葛亮が劉備に勧めた「天下三分の計」をととても感激され見入っていたお客様がおられました。屏風絵「草船借箭（ソウセンジャケン）」の場面では、知恵者諸葛亮の 10 万本の矢の調達の話をご存知の方が多く、皆さんお喜びでした。新展示の杜庚（トウ）筆の屏風は達筆過ぎて一部しか読めず、絵として観れば素晴らしいと何度も読み下しに挑戦されるお客様もおられました。

「堺大絵図」には、八ヶ寺が集中する寺院街区で「超善寺町」と記され、湯屋寺町の代表的な寺院でした。1441 坪有った敷地は戦災都市計画法で減地となり現在では 682 坪です。

また、堺市と連雲港市との文化的交流、友情の絆、19 世重道（ジュウドウ）上人のお心を引き継ぎ、21 世暁道（ギョウドウ）上人が大切に守り、地域に愛された寺であることがよく解りました。

ご住職様、奥様、檀家総代様、お世話になりました。担当者、華美芝居を演じられた会員の活躍は素晴らしいものでした。皆様に感謝申し上げます。

* 旧天王貯水池を担当して

【 渡辺 和彦 】

3 月 31 日、1 日だけ旧天王貯水池を担当させて頂く事になり、どんな話をしようかとインターネットで少し勉強。当時、堺市西部は塩害が多かった事や、明治の開国に伴い各種病原菌が日本に侵入、堺市では明治 28 年から 15 年間でコレラと赤痢が 7 回大流行。こんな時代背景があって近代水道が敷設された等々勉強したのですが、こんな話をしようものなら、お客さんが早く旧天王貯水池の中に入りたいのか、目が凱旋門に注がれます。またお洒落な古墳と思っていた人も多いようで、車の窓から顔を出して「ワー、中見れるのー、見たいー」と叫ぶようにして通り過ぎる人もいました。



好奇心旺盛な人が多いようです。雨にも見舞われ、ガードマン不在時に入り口横に駐輪する人がいたりしましたが、ケガ人も無く、ガイドを終えることができました。

* 宿院 頓宮

【 加藤 基之 】



今回は宿院頓宮さんを担当させて頂きました。

久々の公開という事で、マニュアル作りから悪戦苦闘しました。そんな私を心配して、たくさんの皆さんから参考になる資料を頂き、最終的には総合プロデューサーに協力して頂き、やっと出来上がりました。頓宮は歴史も古く、神功皇后が三韓征伐より帰られた時、ここに兜を埋められたという伝説によって神社を創建したといわれる場所です。

そして迎えた初日、サブリーダーと 9 時に集合し朝礼をして気を引き締め、お客様をお迎えする準備をしました。頓宮は普段でも自由に出入りできるので、「そんなに朝早くからお客さんは来ないだろう。」と高を括っていたのですが、スタートの 9 時 30 分から沢山のお客様にご来場いただき驚きました。お客様にお聞きしたところ、「明日の天気予報が良くな

いし、今日頓宮さんをスタートしてあちこち回る。」という方が多くお見えになりました。

2日目は予報通り雨模様でしたが、午後からの「まちなかコンサート」上演のお蔭様でたくさんのお客様に来場頂きました。最終日も大勢のお客様に来場いただき本当に充実した3日間でした。

この3日間にご来場できなかった方には(観ボラの皆さんも)、いつでもご覧になれますので是非ご来場頂きたいと思います。

* 堺“二條半”で心を紡ぐ

【 榎 静一 】

妙法寺は二條半と呼ばれました。これは、天文法華の乱【天文5年(1536)】の際、大本山妙顕寺(京都市)も灰燼に帰し、日廣上人以下三代にわたり堺の妙法寺(元の南宗寺跡)に避難滞在しました。妙顕寺の在る場所が二條半と呼ばれていたため、妙法寺も同じく“二條半”と呼ばれ、明治末期まで妙法寺より“二條半”の方が通用していました。

初公開の曼陀羅図【法華経宝塔曼荼羅図(堺市指定文化財紺紙金銀泥 104,6×54)】は、描かれた十層の塔が法華経の経文一字一字によって描かれ、その周囲は法華経の内容を絵にした大変めずらしい曼荼羅です。現在は法華経八巻の内、七巻目(約一万字)だけが残っています。



描かれた人物の表情は可憐で穏やかであり、各場面には軽快な運筆で藤原末期から鎌倉初期の経絵に共通する洗練された貴族趣味的な感覚が表現されています。鎌倉初期の大変貴重な作品です。

また、和菓子作り体験は初めての取り組みで、お客さまに和菓子作りを体験して頂きました。子どもたちが生まれて初めて自分で作った和菓子を、お寺が設えた赤い毛氈を敷いた床机に腰かけて、ほうじ茶を味わいながら自慢の作品を美味そうに頬張っていました。

公開中は雨、風、寒さに襲われ桜は2～3分咲きの複雑な天候の三日間でした。若干の不備、事故はあったものの観コンスタッフの心ある素早い対応と住職、

副住職のwelcomeの心と、観ボラスタッフのおもてなしの心の三者のハーモニーで、昨年を超える方に参拝頂き無事終えることができました。

既に次の公開ではどのようなおもてなしをしようかと、ワクワクしながら構想を練っているところです。

* 南宗寺

【 福島 均 】

堺文化財特別公開のパンフレットには「利休好みの茶室：実相庵」だけが書かれていましたが、実際には老師のご厚意で女流画家中村餘容さんが描かれた60面の「方丈襖絵」も特別公開されました。

南宗寺には他にも「千家一門の供養塔」「三好一族の墓」「開山堂跡」「徳川家康の墓」「東照宮拝殿跡と唐門」「枯山水の庭」「水琴窟」「仏殿」「禅堂」などなど、案内には事欠きません。

多くのお客様が「初めて来た」あるいは「ずっと昔に来た」という方だったこともあって、方丈の縁側に座って枯山水の庭をじっくり味わって「南宗寺はいいお寺だった」と感じて帰っていただけよう心掛けたつもりです。

唐門から方丈へ向かう間の「ユキヤナギ」、禅堂前の「アカハナトキワマンサク」にも喜んでいただけたと思います。

初めての文化財特別公開担当でしたが、初日朝の準備から最後の後片付け迄フルに参加することになり、とてもいい経験をしました。いつもに比べて、時間が経つのがとても早かった3日間でした。



* 海会寺

【柳 日登美】

桜の花の盛りにはまだ少し早く、雨に降られた肌寒い日もありましたが、たくさんのお客様がお越しくださり、美原区からのツアーやミニガイドツアーに参加されたお客様も多く、盛況な3日間を終えることができました。



今回 10 年ぶりの公開となる牡丹花詩集や文英清韓墨跡屏風に興味深く見入られている方が多く、文英清韓に纏わる「方広寺鐘銘事件」の説明で梵鐘の銘文「国家安康・君臣豊楽」の文字をお見せすると、ほとんどの方が「その話を知っています」というお顔で頷かれ、熱心に話を聞いてくださいました。

また石庭は晴れた日溜まりの中で見ても、雨の中で濡れた様も共に風情があり、庭に臨む板張りの外縁に座り、じつとご覧になっていたお客様も何人かおられました。

17 世紀前半の建物である本堂や門廊も含め、まるで江戸時代にタイムスリップしたような空間がそこにありました。海会寺の素晴らしさを、今回更に多くの方に知って頂けたと思います。

* 一期一会（山口家呈茶）

【井上 比婦實】

今春の特別公開は、桜もびっくりするくらいの底冷えと突然の時雨、毎日大勢のお客様という訳にはいきませんでした。しっとりと味のある茶会のように思いました。

お床には毎日清々しく素敵なお花が活けられました。

29 日・八重の大かぐら椿

30 日・加茂本阿弥（カモホンナミ）

31 日・おとめ椿と先生宅のお庭の椿



初日の朝一番、二人の青年が入館され、お庭のハゼの木や待ち合い廊下の楠の一枚板、木造軸組工法の重要文化財山口家住宅にとっても興味を持たれた様子でした。「建築家をめざされているの？」の問いに「僕らは東大に届かず、浪人できぬ身です。現役で他の大学に進み、医師と弁護士を目指します」と。「ここ山口家 13 代ご当主・義一氏は東大へ行かれ、政治家になられたのよ。お二人とも夢をかなえて、またご来堺くださいネ。」と青年たちと握手して大きな背中を見送りました。母のよう

な思いで・・・。

お茶会では、お客様からいろいろ質問を受けました。お饅頭を食べるタイミングは？甘いのが苦手な時は？おかわりほしいときは？とか。空き時間に高校生を指導されている先生にも「私も教えて頂きたいわ」と言われたり。皆様と楽しく交流ができました。

また、呉服屋さんとのコラボで1日500円で着物を借り、私をはじめ何人もの方が体験され喜んでいらっしゃいました。一期一会、人との出会いは、そこはかとなく味のある面白いものですね。

* ミニツアー① 「世界文化遺産登録間近！ 桜舞う大仙公園古墳めぐり」 【和田 千香】

大仙公園内には様々な種類のサクラが約1000本植えられています。御陵通のソメイヨシノの桜並木、昨年品種認定された与謝野晶子の歌碑の前に咲くヨサノアキコ、日本庭園前のヒガンシロシダレ等はそれぞれの味わいがあります。

そして一番の見どころ「桜街道」では、咲き誇るシロシダレとベニシダレに「わぁー、綺麗」という歓声がおこりました。そこでは皆さん足を止め写真を撮をたくさん撮られていました。さらに、ソメイヨシノの片親のオオシマザクラ、そのまた親の奈良の吉野に咲いているヤマザクラを見ながら説明を熱心に聞かれていました。

また、ビュースポットから見た履中天皇陵古墳の雄大さに感激しておられました。その後、旗塚古墳に実際に登り、後円部の二段築盛や造り出し部分を確認できた時は、「古代の人の気持ちが伝わるような気がする。」と喜んでおられました。これからも、たくさんの方に大仙公園内の桜や古墳の魅力を伝えていけたらいいなと思いました。



* ミニツアー④ 「初公開の(美原区)法雲寺や黒姫山古墳を歩く」 【大西 静子】



平成最後となる春季堺文化財特別公開で「美原区を歩くミニガイドコース」をご案内しました。

はじめての美原区のコース、朝早くからこられるお客様方、3日間で74名の参加があり、堺市内だけでなく大阪狭山市など市外からも参加されていました。

この度、初公開の法雲寺では黄檗様式独特の伽藍構成の中国的な寺院空間を味わっていただきました。山門、

天王殿、大殿、開山堂、慧極殿をそれぞれの配置ガイドの話聞き、境内を見学していただきました。大殿の3,333体の御本尊は必見で写真撮影可ということで皆さん喜んで写真を撮っておられました。また境内の素晴らしいツツジの写真パネルの展示もしていましたので、5月のツツジもぜひ見ていただきたいと思いました。

この後、法雲寺を南門から出て、次に広国神社、鍋宮大明神石碑と歩きます。ここでは平安時代から美原地区に住んでいた技術集団の「河内鋳物師」が全国で活躍し、東大寺大仏修復や鎌倉大仏鑄造にも関わったことに驚いていました。それから黒姫山古墳へと向かい、前方部復元や埴輪列の復元、堅穴式石室復元に皆さん目を凝らしてじっくりとみていただき、「ガイドがいなければ見落としたかもしれない。」と喜んでおられました。

このミニガイドコースは、みはら歴史博物館到着で終わりですが、お客様のほとんどの方が博物館に入館されていました。きっと館内ではミニコースで見聞きしたことを振り返りながら楽しんでいただいたことと思います。

《 あ・ら・かると 》

* ガイドの豆知識 7

堺の文化 商人たちの活躍

【 山田 武彦 】

「堺鑑」(サカイガミ)の土産の項に「一休和尚烏繪扇子」(イッキウオウショウ カラスエオウギ)と言うのがある。これは京都から堺へ来ていた一休禅師が堺の扇子屋のために絵を描いたというのであるが、一休さんだけではない、多くの人達が流れの低きにつくがごとく平和な“堺”へ“堺”へと流れてきて色々な足跡を残してくれた。

往時の“堺”の人々はこれらの人々に刺激を受けて、また直接刺激を受けなくとも「市民自身が手を下して各種の文化的事業に寄与した誇りを持っていた、それも商人が多い。

例えば仏書では『五燈会元』の刊行があり、正平版の『論語』は堺の市民道祐居士(ドウユウコジ)の出資、天文版『論語』は堺の阿佐井野氏が清原家の本を出版したものであり、『三体詩』は明応3年の版木を阿佐井野宗禎が買って出版したものである。その他、『千字文』は石部了冊、阿佐井宗瑞は『医書大全』、三宅亡洋の『徒然草』など、時代は下るが堺案内のものとしては衣笠一閑の『堺鏡』、高志芝巖の『全堺志』等があり、かくも盛んな出版は堺の商人の手によってなされた。勿論これら以外にも現在残っていない沢山の出版物もあるだろう。

その他、歌謡は12世紀末の今様歌謡が、時代が下って変形・変質するがそれを最も小歌的な小歌にまで洗練したのは、16世紀末ごろの顕本寺の高三隆達(タカサブ リュウタツ)です。

連歌は、晩年を堺で過ごした牡丹花肖柏の弟子の宗椿の紅屋をはじめとして商人衆が多くいる。茶の湯では紹鷗始め、宗及、宗久、利休等、皆商人である。

このうち利休は天正13年(居士号を勅許)と14年(黄金の茶室)の2回の禁中茶会で、天下人秀吉の天皇・朝廷対策を援けている(何となれば、御所において茶会を開くことが出来るのは、本来御所の主人である天皇だけのはずであるが、それを関白秀吉が開くことによって、実質的な権威者が自分であることを公家達に示したわけである)。このように堺の商人たちは深く天下人にまで食い込んでいたのである。

そのほかにも商人たちの中から身を起こして、例えば薬種商から大名になった小西行長、僧侶では江月、玉仲、翠巖等多くいるが皆堺商人の子弟から出ている。ここで特筆すべきはこれらの僧侶の宗旨が色々であるということである、これらの事からこの狭い“堺”に多くの寺院が軒を連ねる一つの原因があるのではないのでしょうか(泉南仏国といわれ、1689年に作られた堺大絵図でみても社寺が225ヶ寺あり)。

このように堺の商人が文化に大きく貢献してきたことについて述べてきたので、現在の日本文化に多大の影響を与え、堺市が条例まで作って一目置いている茶道、即ち千利休につき述べてみたい。

次回をお楽しみに。

で今回は終わろうとしましたところ、東京の友人から突然メールが入りました、かいつまんで書きますと、「ところで、『千利休』という小惑星があるのをご存知でしょうか。先週、友人たちと花見に行きましたが、その時堺から買って帰った堺の地酒『千利休』を持参しました。これを飲んだA君がこの小惑星の話をしてくれました。

彼が勤めていた会社は滋賀工場内に天文台を持っており、観測活動で発見した小惑星に、ゆかりの深い地名、人名を名付けて登録しています。『千利休』と命名したのは、天文台を創ったB氏が裏千家の千宗室氏（現・玄室氏）と昵懇（ジッコン）の間柄だったからだろうと思います。この話は堺市でもあまり知られていないのではないのでしょうか。」

（小惑星「千利休」は「(5330)Senrikyu」として、IAU（国際天文学連合）に登録されています。英文字でSenrikyuです。）利晶の杜、利休屋敷跡のガイドでお使いください。

参考文献 別冊太陽 千利休、山本兼一 利休にたずねよ、小西甚一 日本文学史、
中井正弘 堺都市史探訪、三浦周行 大阪と堺

《トピックス 1》

* 檜塚古墳見学記

【瀬島 正司】

平成最後の31年4月13日(土)、今まで、幻と思っていた檜塚古墳の見学会があるということで、朝からそわそわしていました。それまでに、少しでも事前に知識をと思い手元の資料を調べましたが、ほとんどありません。

まず、発行年不詳で、平成14年、私が観光ボランティア協会に入会した時点では既に存在した「堺百舌鳥古墳群巡り A tour around the Mozu Tumuli Area」では、前方後円墳である事と所在地は石津北町であることのみ判明しました。「堺観光情報ファイル」では、前方後円墳と書いてありますが、年代不明、所在地とあとは空白でした。続いて、平成20年堺市文化財課発行の、「堺の文化財 百舌鳥古墳群」のパンフレットです。保存されている古墳で、全長24.9m、所在地、宮内庁管理とだけ出ていました。そして、平成26年文化財課発行の「堺の文化財 百舌鳥古墳群」では、20年度の内容に加え、後円部の高さ、2.5mが付け加えられていました。



いよいよ当日の資料のみが頼りということになりました。そこで、説明資料を全文紹介します。

所在地：堺市堺区石津北町

規模：長さ約25m、高さ約3m

墳形：前方部を南に向けた前方後円墳か

概要：履中天皇陵の飛び地として宮内庁が管理

- ・ 築造時期、埋葬施設、副葬品、葺石・埴輪の有無等は不明
- ・ 近接して位置する長山古墳（平成25年に発掘調査）、乳岡古墳は4世紀後半の築造
- ・ 檜塚古墳の南側での発掘調査では、5世紀から6世紀にかけての土器が出土
- ・ 墳丘や周辺から瓦が出土することから、古代寺院の基壇ではないかとの説がある

以上が手元にある資料のすべてですが、乳岡古墳にも後円部に、かつて尼寺があったとのことなので、たとえ瓦があってもあとで建てられたと理解したいです。

実は、古墳に夢中で気づかなかったのですが、この企画は、株式会社クボタ・堺製造所様の地域への感謝行事の一環でした。参加してみて分かったのですが、同社の農業用機械の展示や農作物や地方の特産品の即売会、子供たちのためのスーパーボールすくい、キャラクターすくい、輪投げ、射的等の催しもありました。企業の楽しいPR企画に微笑ましい気持ちで楽しい半日を過ごさせていただきました。

《 トピクス 2 》

* とまってる“だんじり”“みたことありますか？

【 山本 萬寿美 】

3月23・24日、大仙公園にて堺の「長承寺」「毛穴町」「大東」の3町のだんじりを持ち寄り『木彫展 Spirits of Japan ～さかい春の陣～』が開催されました。

岸和田・堺・泉州・河内方面には、今も根強いだんじり文化が存在しています。古くから曳いている各々の町にとって、これは「町（ちょう）の宝」。お祭りでは町の宝を町中に曳行し、大屋根の上で華麗に舞い踊り、時には危険を伴うほど曳き回すことが一番の醍醐味だと言います。

祭りを実際に見たことがなくても、誰もがイメージとして勇壮に走り回る姿が脳裏に浮かぶことでしょう。しかし、「町の宝」にはもっと奥深いお宝が存在していることをご存知でしょうか？



だんじりは新調すると100年の宝になると言われています。では、それを製作するにはどれくらいの年月がかかるのでしょうか…。これらは「町」「工務店」「木彫師」の三位一体で製作されます。まずは、材木の調達です。泉州の多くは「けやき」でできています。「ケヤキ」は硬くて丈夫なので最適なんだそうです。工務店さんが山に赴き選定します。外見だけで選定するので、経験と知識をもちあわせた目利きの工務店さんの最初の大勝負です。そしてその木を乾燥させるのに2～3年を要します。

その間に「町」「木彫師」「工務店」の間で“彫り物”に関しての壮絶な話し合いが繰り返されます。一般的には町の担当者で「意向・希望」が話し合われ、歴史やそれぞれの町の特徴やテーマを決めます。そして「木彫師」「工務店」が加わりそれぞれの知識やアイデアが盛り込まれ、下絵が出来ていきます。構想から3年。ここからは「木彫師」とよばれる職人によって約3年を費やして彫り上げていきます。なんと、総製作年数・約6年を費やして完成します。

一般に「曳くこと」に目を奪われ、奥にある「お宝(彫物)」は脚光をあびることが少なく、「お宝」故に普段は網がかけられ、高い部分の彫物など私たちの目に届くことも叶いません。それどころか、そこにそんな素晴らしい彫物が施されていることなど知る由もなかったのです。「とまってる『だんじり』みたことありますか？」これこそが皆さんに知って、見てほしかったことなのです。

『さかい春の陣』は、中に彫り込まれた木彫師の日本人の魂を感じ取っていただくために開催されました。黙々と宝のひとつひとつを彫り上げるのは堺市出身の木彫師さんです。彼は幼少の頃からだんじり祭に参加していましたが、子供ながらに惹かれたのは「曳くこと」ではなかったそうです。なんと、近くでみた「彫物」に魅せられたのです。学生時代から工房に見学に通い、師匠のもとで10年の修行を重ね、独立して「工房」を設立して10年になります。これを記念して『～さかい春の陣～』の開催に至りました。彼の木彫には伝統を重んじながらも新しい風を感じさせる発想があり、それを発見することは見る側にも喜びと感動を与えてくれます。

また、「日本庭園」では木彫の数々の展示。いこいの広場に並んだ台の金網は取り払われ、奥までのぞけるほどの至近距離からの見学。そして中段の彫物も見るように中二階の回廊も準備されました。だんじりファンはもちろんのこと、一般の参加者や海外の方々などにも十分に楽しんでいただけたことでしょう。

この木彫展をきっかけに、堺に残る「職人の施す芸術」を受け継ぎ、伝承していつて欲しいと心から願います。参加いただいた方々、今年の秋祭りでだんじりをご覧になる時はきっといままでとは違った見え方がしていることと思います。

★ 2019年（令和元年）5月度 月間予定表

日	曜	行 事	時 間	場 所
3	金・祝	「大阪・奈良歴史街道レレワーク」第1回	9:00	集合：近鉄京都線平城駅
5	日	「さつきまつり」＜華美芝居公演＞	11:00	開口神社境内
7	火	定点ガイド部 Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		理事会	13:00	堺市総合福祉会館 第1会議室
		運営委員会	14:30	堺市総合福祉会館 第1会議室
8	水	定点ガイド部 Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
		「29期入門講座」開講式	13:30	堺市総合福祉会館
9	木	ツアーガイド部会議（見学可）	13:30	堺市総合福祉会館
		全体研修会「古市古墳群の魅力を語る」1回目	10:00	東洋ビル4階7号室（堺東駅前）
10	金	企画部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館 第5会議室
12	日	「5月の自転車ツアー」（櫻井神社・法道寺他）	9:00	集合：大仙公園案内所
13	月	J A「C R O P」取材（中区檜葉町）	9:30	集合：現地
		総務部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
		「さかい利品の杜 定例調整会議」	16:00	さかい利品の杜
14	火	定点ガイド部 全体会議（見学可）	9:30	堺市総合福祉会館
		「自転車ツアーガイド勉強会」	9:00	花と緑の交流館（都市緑化センター隣）
		「広域連携歴史探訪ガイドワーク実行委員会」	10:00	大阪狭山市市民活動支援センター
		研修部会議（見学可）	14:00	堺市総合福祉会館
15	水	「南海・歴史街道ガイドワーク」第1回下見	9:30	南海本線 堺駅西口
		＜協会ニュース6月号＞原稿締切り	＜広報部＞	
16	木	全体研修会「古市古墳群の魅力を語る」2回目	14:00	東洋ビル4階7号室（堺東駅前）
17	金	第30回「堺新発見ツアー」 【いさな寄る茅渚の海～魚介の宝庫 湊めぐり】	10:00	集合：南海本線 湊駅改札口
		広報部会議（見学可）	10:00	堺市総合福祉会館
		事業部会議（見学可）	14:00	山之口商店街プラザ
21	火	「南海・歴史街道ガイドワーク」第1回袋詰め	10:00	山之口商店街プラザ
		「堺観光情報連絡会」	10:30	堺市役所高層館2階 観光部
23	木	「28期生対象まち歩き②」	9:30	集合：阪堺線 綾ノ町電停東側
24	金	「大阪・奈良歴史街道レレワーク」第2回	9:00	集合：近鉄樺原線郡山駅
25	土	＜協会ニュース5月号＞発行作業	9:45	観ボラ オフィス
26	日	「南海・歴史街道ガイドワーク」第1回実施	9:30	南海本線 堺駅西口
27	月	J A「C R O P」編集会議（堺区檜葉町）	14:00	山之口商店街プラザ
28	火	定例部長会議	9:30	堺市総合福祉会館
【予告】				
・「第12回 通常総会」			14:00	6月4日（火）堺市総合福祉会館
・「世界文化遺産推進室による勉強会」 1部			10:00	6月14日（金）堺市総合福祉会館
・「世界文化遺産推進室による勉強会」 2部			14:00	
・「28期生フォローアップ研修」			14:00	6月21日（金）堺市総合福祉会館

2019年 3月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

正 会 員 数	245 名
当 月 全 休 会 員 数	15 名
会 員 活 動 参 加 数	230 名

定 点 案 内 所	917 名
事 務 局 ・ ガ イ ド 事 務	163 名
展 望 ロ ビ ー ・ 学 童 ガ イ ド	0 名
ガ イ ド 活 動 小 計	1,080 名
ツ ア ー ガ イ ド	167 名
会 議 ・ 研 修 会 ・ 勉 強 会	261 名
イ ベ ン ト	404 名
打 合 せ ほ か	389 名
会 員 活 動 合 計	2,301 名

月/日	そ の 他 活 動 の 主 な 内 容	活動人員
3/ 4	理事会・運営会議 於: 総合福祉会館	43 名
4	当協会の入会年次リーダーとの会議	10 名
4~28	春季特別公開先の事前訪問や準備など	70 名
5・20	全体研修会「百舌鳥古墳群の魅力を語る」 講師 堺市博物館 白神学芸課長	129 名
13	勉強会(自転車博物館のガイド)	21 名
15	春季特別公開の責任者会議	29 名
19	観光情報連絡会 於: 市役所	5 名
19	勉強会(町家: 山口家、清学院のガイド)	41 名
26	協会の部長会議(正副理事長と各部長)	12 名
29~31	春季特別公開のガイドなど (11ヶ所の寺社などと、2ヶ所の呈茶提供、 ミニツアーガイド 4コース)	404 名

<来客数実績>

定 点 案 内 所	ガ イ ド	(件数)
堺 駅 観 光 案 内 所		60 名
市 役 所 展 望 ロ ビ ー		
一 般		2,319 名
学 童 ・ 先 生		0 名
大 仙 拝 所 前		5,462 名
南 宗 寺		770 名
山 口 家		1,026 名
清 学 院		593 名
利 休 屋 敷 跡		2,604 名
妙 國 寺		190 名
自 転 車 博 物 館		320 名
伝 統 産 業 会 館		737 名
利 晶 の 杜		2,402 名

ツ ア ー 観 光 ガ イ ド		
ツ ア ー 観 光 ガ イ ド	3,802 名	89
ミ ニ ツ ア ー ガ イ ド	堺 駅 観 光 案 内 所	4 名
	市 役 所 展 望 ロ ビ ー	30 名
	大 仙 公 園 観 光 案 内 所	37 名
特 別 公 開 な ど		
春 季 特 別 公 開	5,754 名	
来 客 数 合 計	26,110 名	

当協会の創設(平成7年4月)	2,273 千名
以 来 の 御 案 内 人 数 累 計	

☆交通規制のお知らせ

2019堺シティマラソン

4月29日(月・祝)9:30頃~14:00頃まで大仙公園・仁徳天皇陵古墳周回コースは、全面車両通行禁止となります。当日、各定点に配置に就かれている方は、くれぐれもお客様へのご案内に留意してください。当番の方も時間に余裕を持って行動してください。大仙方面バスも時間帯で運休になりますのでご注意ください。

ニュース同封の地図とバス案内も確認願います。

2019ツアー・オブジャパン堺ステージ

5月19日(日)10:30頃~15:00頃まで、同じく大仙方面で交通規制があります。同日も各定点配置の方は、充分確認してお客様へのご案内をお願いします。地図も同封しています。

令和

金 銅 京 子

「平成から令和へ」
令和元年になりました。私達の日常は今までと変わらないけれど何か改まった気持ちになります。
天皇が生前退位をされて新しい元号になるからなのか、この一か月ほどは、お祝いムードが漂いマスコミの取り上げ方が、お祭り騒ぎの感がありました。元号表示を使っているのは世界中で日本だけだそうです。西暦表示だけでよいのでは、との意見も有るそうですが、やはり日本には元号が有った方がよいように思います。私も過去の事を話す時など元号の方がその頃の自分の生活や時代背景が思い出せるような気がします。「令和元年、百舌鳥古市古墳群が世界文化遺産に登録される」となると思います。
堺市の人達にも記念すべき年になると思います。

編集後記

★ 平成31-3月度ガイド実施報告 (敬称略)

※ 総件数 59 件 / 案内人数 2,353人 / 担当ガイド 99人

ご 案 内						
日	曜	お客様	人数	時間	場 所	担当ガイド
3	日	JR 百舌鳥古墳群めぐり	1 名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 履中陵ビュースポット 大仙公園 仁徳陵	西岡英
		※京都の宇治市から、J Rのパンフレットを見て来られました。奈良の古墳なども良く歩かれているそうで話が弾みました。				
4	月	講演 堺観光コンベンション協会 「仁徳陵の謎に迫る」	20 名	10:00 12:00	阪急グランドビル 30F	川上浩
		※「第三回・仁徳天皇陵古墳の謎に迫る」世界遺産と百舌鳥古市古墳群の解説と VR ツアーを解説、VR、質問、三部構成を90分実施。VR のレンズは、堺市博物館の休日に持ち出して使用。3回目の今回は、パワーポイント無しでの試み。アンケートでは、有った方が良いとの感想と、無い方が話し手に制約がなく、楽しかったとの意見が分かれた。				
5	火	トラベル日本 大阪支店	6 名	12:30 14:10	晶子生家跡 ザビエル公園 妙國寺	小出
		※ツアーの主目的は、妙國寺。早めに昼食を済ませ、大蘇鉄と枯山水の庭園、資料室と、たっぷり楽しんで頂き感激されていました。				
		堺フェニックスロータリークラブ	48 名	10:00 11:00	展望ロビー	新井柳
		※タイからの中学生くらいの学生さん達。古墳や堺の話をしっかり聞いて頂き、質問も沢山してくれました。展望ロビーからの景色を充分に楽しんで貰えたようです。				
6	水	道新観光「ツアーNo.JB52441」	16 名	14:20 16:50	展望ロビー 南宗寺 利休屋敷跡 利晶の杜	林茂
		※「お茶」を愛される北海道からのお客様。利休の生まれ育った場所に感慨深げ。明日は、大徳寺から高台寺へ行かれるそうです。				
7	木	第 28 回新発見ツアー 「郷土が生んだ奈良時代の高僧『行基』の足跡を辿る」	34 名	10:00 12:30	水賀池 土塔庵 大野寺（外観）土塔 しものファーム	弘瀬 井藤 浅倉
		※土塔庵では「堺にこんな良い所がある」と感動されていました。しものファームでは一面の小松菜の美しさと収穫体験も出来ました。皆さんの表情と道中の参加者同士の会話が弾みました。				
		エルプラス大阪	16 名	12:10 15:30	利晶の杜 利休屋敷跡 展望ロビー	森口
		※大阪の女性経営者を中心として方々をご案内しました。幼少のころ堺に住んでいた方も居り、懐かしく思い出されておりました。				
9	土	さぬき市文化財保護協会 志度支部	34 名	10:30 16:50	展望ロビー 仁徳陵 南宗寺 利晶の杜 伝産会館	小出 上野
		※事前に勉強されている皆さん。ポイントを突いた質問もあり、緊張しましたが、大変楽しい案内でした。				
		(株)DAIWA	20 名	9:00 16:30	利晶の杜 小島屋 浜寺公園駅舎 福栄堂 山口家 泉州庵 展望ロビー	武藤
		※今年2回目のお馴染み様。木津市場、住吉大社を自由散策後、阪堺線で大和川を超えたら、黄金のジャケットに着替えいざ出陣！住吉大社と縁の深い堺を感じてもらいました。新旧の阪堺線を5回乗り継ぎ、ラストの展望ロビーでは古墳堪能。盛り沢山の内容だったが、お客様からみんな一つになれたね、と！				
		大原紘一様	2 名	12:20 16:25	仁徳陵 南宗寺 利晶の杜 妙國寺	大橋

		※神戸市垂水区の70歳のご夫婦。歴史好きの奥さんが予てより堺に来たいとの希望で来られました。仕事で度々長崎に行くが、長崎の歴史は幕末以降が有名。堺の歴史は古墳時代から長く訪問地毎に興味深い逸話がある」との感想でした。				
		JR 百舌鳥古墳群めぐり	13名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 履中陵ビュースポット 大仙公園 仁徳陵	樽野
		※埼玉県熊谷市、京都府八幡市、東大阪市、堺市内などからのお客様。雨でしたが、元気に歩いて下さいました。質問も多くて話が弾みました。				
10	日	3月の堺自転車ツアー 「ひな飾りめぐり」	2名	9:00 12:00	旧堺燈台 山口家 鳳翔館 鉄砲鍛冶 屋敷 清学院 伝産会館	中村博
		※常連の方と大阪市内の女性の参加。3ヶ所のひな飾り見学をし、大変喜んで頂きました。				
		未来へつなごう！ 堺チン電の会	5名	9:30 12:10	住吉大社 高須神社 内田家住宅 水野鍛錬所 伝産会館 利品の杜	柴田友
		※外国人を想定したツアーでしたが、参加者はいませんでした。この為、ホーム・ホステルの社長(3歳位のお子さん連れ)とチン電の会から福井会長、井浜さん、平松さんが参加されました。今回の下見の目的は、宿泊者(アジア系外国人)を対象とした観光です。住吉大社では花嫁行列を見学し、内田家住宅のひな人形見学を楽しみました。利品の杜では、体験型とし呈茶が良いのではとお話ししました。				
13	水	三洋航空サービス岡本営業所 「みなと銀行OB会」	37名	9:15 16:20	仁徳陵 博物館 南宗寺	川上浩 川上由
		※高速渋滞のため大幅遅れの到着でした。銀行OBのお元氣な皆様。説明にも大変反応が良く、ガイドをしていて楽しい一日でした。堺をととても気に入ってくれて、リピーターになって頂けそうです。寒風吹き荒れる中、2人で協力して無事終了。				
14	木	神姫観光社支店 自由が丘学園	71名	10:30 14:20	仁徳陵 博物館 利品の杜 利休屋敷跡	林茂 藤井 英 箕野 小川喜
		※女子高生のお客様かと思いましたが、実は50数年前女子高生だった方々の研修会。三木市のシニアグループの団体で、バスの中での会話も弾み楽しいガイドとなりました。				
		岩手県北観光「東大寺二月堂修二会 と京都東山花灯路」	29名	10:30 11:30	仁徳陵 展望ロビー	土山
		※予定より30分のおくれで到着。展望ロビーは簡単なガイドとなりました。前行程が東大寺二月堂だったので、行基について話すと喜ばれました。				
15	金	(株)加地テック	6名	18:30 19:00	展望ロビー	志野
		※堺での会食に合わせて夜景を楽しみたいと展望ロビーに来られました。当日夜のコンサートが市役所の展望ロビーであったので、北側中心に案内。摂河泉・堺市の市章の話を大変喜んでくださいました。				
		国際ソロプチミスト奈良	34名	10:00 12:00	利品の杜	丸岡 浅倉
		※交通渋滞で少し遅れて到着しましたが、待庵、立礼呈茶は、利品の杜の職員さんと連携して、3グループを時間内に案内出来ました。皆さん堺にとっても興味を持たれ、奈良から近いので「また来たい」と。				
		88 観光 はまななクラブ	24名	15:10 15:45	利品の杜 利休屋敷跡	田辺
		※30分以上遅れて来られ、また、お客様の都合で出発を早められたので駆け足の案内になりました。				
16	土	神姫バスツアーズ神戸支店 「福住高野講」	19名	10:20 14:30	展望ロビー 仁徳陵 H青雲荘 利品の杜 伝産会館	渡辺和
		※70歳前後の男性ばかりの団体でした。午後からは、ゆっくりされていましたが、楽しく案内させて頂きました。				
17	日	JR 百舌鳥古墳群めぐり	5名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 履中陵ビュースポット 大仙公園 仁徳陵	石川幸

		※奈良県吉野町の女性、大阪市の男性達と東京から1名、転勤で大阪へきたので「堺の古墳を見たかった」途中で雨がきつくなりましたが、無事最後まで案内出来ました。 吉野の方は、全国の天皇陵めぐりをしているそうです。			
		御所ふるさとクラブ	35名	10:00 11:30	利晶の杜 平野 平岡英
		※多くの方を案内しました。短い間でしたが楽しかったです。この後、徒歩で博物館に向かわれました。			
		京都観光協会 「柳谷千人会」	22名	11:15 15:20	展望ロビー 青雲荘 利休屋敷跡 利晶の杜 伝産会館 若槻
		※京田辺市周辺の方が大半でした。最初の市役所では雨で視界不良が残念でした。最後の堺伝統産業会館では晴になり、皆様 精力的にお土産を買われておられました。			
18	月	健朗会	15名	10:10 12:10	本線湊駅 船待神社 環濠遺跡 南宗寺 佐伯美
		※天気も良く、老人会の方々と、90歳の方もおり、歩行速度に気を遣いました。皆さんとても熱心に説明を聞いてくださり、質問等もあり楽しい時間でした。			
19	火	羽曳野文化祭実行委員会	22名	9:30 11:40	博物館 仁徳陵 西川 山田豊
		※予定より30分早く来られたので説明に時間がとれて、お客様に喜んで頂きました。「百舌鳥古墳群の事は良く知らないので参加しました。良く分かって観ボラさんはスゴイ」とお褒めの言葉を頂きました。			
		PHP友の会チャレンジ	8名	13:00 16:00	黄梅庵/伸庵 博物館 日本庭園 自転車博物館 仁徳陵 土井
		※博物館ではシアターもご覧になり、時間を取って見学して頂きました。日本庭園も雨上がりのしっとりした風情を感じてもらいました。仁徳天皇陵古墳の拝所前では記念撮影を行い、百舌鳥駅までお見送りをして無事終わりました。			
20	水	観光タクシーで巡る 「百舌鳥古墳巡り」堀井様	2名	9:30 12:55	反正陵 仁徳陵 博物館/VR 大仙公園 内古墳 履中陵 いたすけ古墳 御廟山古墳 野澤
		※茨城県の方をタクシーでゆっくり古墳めぐり。楽しい時間を過ごして頂きました。新日本紀行堺特集を見て堺を観たくなったとの事。「来て良かった」と言って頂きました。			
21	木	ふるさと納税 体験型記念品 「VR体験と古墳めぐり」高木様	2名	10:15 16:50	仁徳陵 博物館/VR 履中陵 いたすけ古墳 御廟山古墳 ニサンザイ古墳 弘瀬
		※古墳を見ることを目的としたお客様なのでどこでも興味を持って歩いて頂け、最後にニサンザイ古墳を見て頂いたのは、お疲れをいやす意味にも良かったと思います。			
		JOYWOW(ジョイワウ)	11名	13:30 16:00	仁徳陵 日本庭園 博物館/VR 川上由
		※経営コンサルの会社の社長が有志を集めている研究会のレクリエーション。百舌鳥古墳群めぐりの一環として案内しました。解散後は、皆さんタクシーでニサンザイ古墳へ向かわれました。			
		自転車競技国体代表同窓会	6名	10:30 13:30	大仙公園内古墳 履中陵ビュー 履中陵 いたすけ古墳 御廟山古墳 仁徳陵 中村博
		※堺市に私も参加している京都と滋賀の国体代表選手の同窓会を堺で開催しました。この後、自転車博物館へも行きました。(自転車で古墳めぐり)			

23	土	産経新聞大阪本社 「チャリティー歴史& 健康ウォーク」	1284 人		北コース：金岡神社 長曽根竹内公園 黒土公園 旧天王貯水池 磐之姫歌碑 中コース：土塔 白鷺公園 百舌鳥八幡 御廟山古墳 履 中陵ビュースポット 西コース：浜寺公園 石津太神社 船待神社 開口神社 妙法寺 南宗寺	川上浩 土井 寺口 柳田 志野 奥野 林茂 木村義 岡崎 石川幸 梶原 谷川 加藤 中村博 小出 田辺 長尾 若槻 山田豊 濱田 廣永
		※大阪信用金庫創立 100 周年記念ウォーク。行員の皆さんもボランティアで参加。その方達と公募のお客様申込みが 1500 人を超えているとのこと。我々は各定点での案内をしました。閉会式での挨拶「信用金庫 100 周年のイベントに参加させて頂き、皆さんと共に、楽しい一日を共有することが出来ました。ありがとうございます」信金理事長と舞台上で握手して、大イベント終了。				
		佐々木充様	2 名	9 : 45 15:00	展望ロビー 博物館 仁徳陵 履中ビュー いたすけ古墳 御廟山古墳 ニサザイ古墳	國領
		※新潟県からご夫婦で百舌鳥・古市古墳群を巡る旅行に來られました。ご夫婦とも古墳の勉強は相当で下調べも完璧にされておられました。明日は一日をかけて古市古墳群を廻られるそうです。				
24	日	JR 百舌鳥古墳群めぐり	15 人	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 履中陵ビュースポット 大仙公園 仁徳陵	國領
		※各地から参加されました。堺市の方は 1 名で、皆さん、質問をされて和やかな古墳めぐりになりました。				
		VR 体験と古墳めぐりツアー 清本様(高槻から)	2 名	9 : 40 15:30	ニサザイ古墳 百舌鳥八幡宮 御廟山古墳 いたすけ 履中ビュー 博物館/VR 仁徳陵	樽野
		※堺駅近くのホテルからバスで到着され、すぐに出発。御廟表塚古墳にも立ち寄り、楽しくお話しをしながら各古墳をご案内しました。「今日は 1 年分歩きました」と言われながらも、楽しんで頂けたようです。				
		菊池 清子様	5 名	13:30 16:30	清学院 南宗寺 山口家 妙國寺	川上由
25	月	※三世代のご家族。皆さん元気にあるかれ、ハードの内容でしたが、すべて廻ることが出来ました。妙國寺、南宗寺では、その歴史の深さに感動されていました。				
		福永加代子様	3 名	10:00 16:00	展望ロビー 反正陵 紅谷庵 旧天王 貯水池 大仙公園	川上浩
26	火	※習字の先生、料理の先生などお友達 3 人がお客様。コースも内容もノープランで自由気ままの町歩き、途中、観光タクシーを 3 回利用しました。				
		シニア自然大学校シティカレッジ 身近な自然と健康科	15 名	13:30 16:30	仁徳陵東側 拝所前 博物館 大仙公 園内古墳 履中ビュー 仁徳陵西側	丸山
		※さすが、学ぶ意欲のある大学生の皆様！熱心に聞いて頂きました。各古墳の形状・出土品等々について積極的に質問されるなど、古墳に興奮して頂いたようです。ご年配の方もおられましたが、全員完歩。				
		大阪トヨタ 「第 4 回大阪をもっと知ろう」	37 名	10:00 15:30	大仙公園 博物館 自転車博物館	辻 橋本要 大北
26	火	※社会貢献活動をされている企業の方達で、社長さんの居られる班を担当しました。咲き始めた桜の鑑賞もあり、大仙公園周遊コースの班と仁徳陵一周の班で清掃活動。いい汗をながされていました。午後は堺市博物館や自転車博物館の見学と充実した一日を過ごされていました。				

27	水	芦屋川カレッジさんし会 街探訪同好会	26 名	10:00 13:00	紹鴎屋敷跡 南宗寺 菅原神社 開口神社 利休屋敷跡 利晶の杜	西本 岡本匡	
		※事前に何回か確認をされていて、順調に進みました。静かな町にビックリされての堺探訪でした。 6km近くの行程で数名の落後者がおられました。					
		枚方市障害者福祉会	32 名	10:40 16:00	博物館 仁徳陵 利晶の杜 水野鍛錬 所 伝産会館	井藤 辻中	
		※段差や石畳、スロープなどお互いに声を掛け合いながらの移動でした。「やっぱりガイドさんがいると 良く分かって楽しかったよ。」に、いつまでも手を振ってお別れをしました。					
		南区更正保護女性会	36 名	10:45 15:50	仁徳陵 博物館/VR 美々卯 山口家 清学院 伝産会館	矢木 加藤	
		※幹事さんが刃物屋の JIKKO を個人的にご存知で帰りに 7 人が立ち寄られました。新しい店で明るく作業 内容も知ることが出来、バスの待機場所にも近く今後のコースにも。 時間が押しましたが、楽しくご案 内出来ました。					
		神姫バスツアーズ姫路支店 東山老人会	18 名	10:30 14:25	利晶の杜 利休屋敷跡 展望ビエー 仁徳陵	山下昇	
		※老人クラブとはいえ、皆さん若い方が多く移動もスムーズで案内がやり易かった。博物館や VR 体験ツアー には興味のある方がおられました。					
		中野史也様	2 名	9:30 13:00	海船政所 月蔵寺 善長寺 妙國寺 開口神社 顕本寺 南宗寺	小出	
		※東京より大学生 2 人。日蓮宗の僧侶を目指し、三好一族の足跡や三好一族の仏教信仰ゆかりの関連跡地 を巡りました。一生懸命に耳を傾けて頂き大変熱心に勉強されていました。					
28	木	博物館を 10 倍楽しむ方法	10 名	13:15 15:40	利晶の杜 利休屋敷跡 晶子生家跡 山之口商店街 開口神社	牧	
		※「博物館を 10 倍楽しむ方法」というご依頼に改めて勉強し直したりして、緊張しましたが、気さくに話 が出来、また教えて頂くこともあり、楽しく案内が出来ました。					
		シニア自然大学 自然観察・化学実験科	12 名	9:50 15:10	展望ビエー 反正陵 旧天王貯水池 西高野/竹内街道分岐点 仁徳陵 博物館 日本庭園	藤井安	
		※古墳について「良く判った」と、殆どの方がメモを取られていました。お別れの時は、楽しかったが疲 れたそうです。					
		阪急交通社 「七つの世界遺産」	37 名	10:45 13:30	展望ロビー 利晶の杜	山端 平野	
		※展望ロビーから見た、仁徳天皇陵古墳の大きさに大変感動されていました。又、堺が利休や晶子さんの 生誕地だと初めて知ったようです（関東の人達）。昼食の深清穴子寿司に舌鼓をうっていました。					
29	金	花の文化園ボランティアグループ	23 名	10:00 15:20	超善寺 宿院頓宮 紅谷庵 反正陵 旧天王貯水池 方違神社 江久庵	森口	
		※春の温暖な気候でした。超善寺の桜は 4 分咲きでしたが、喜んでおられました。昼食の特選・焼きあなご 重も好評でした。紅谷庵の奥座敷から反正天皇陵古墳の眺望にも堪能して頂きました。					
		新神戸聞社「語り部ガイドと巡る 歴史と文化の堺散策」	22 名	10:10 17:00	薫主堂 鉄砲鍛冶屋敷 仁徳陵 南宗寺 利晶の杜 伝産会館 展望ビエー	小川正	
		※特別公開中でしたが、鉄砲鍛冶屋敷、南宗寺でもスムーズに案内できました。お客様のご協力もあり、 全行程殆ど時間通りまわりました。					
		松田宜子様	4 名	11:30 15:00	利晶の杜 梅の花 利休屋敷跡 南宗寺	梅影	
※徳島市在住の俳句仲間が、季語を搜すため観光を兼ねて堺へ来られました。それぞれの場所で見学、 鑑賞され、要所要所で簡潔に説明しました。3 時間ほどのガイドでしたが、大変喜んで下さり別れ際 にお礼を言って下さいました。ご案内のしがいがあったと思いました。							

29	金	永井智子様 (岐阜市から)	5名	10:10 13:15	仁徳陵 博物館/VR 大仙公園内古墳 展望ロビー	石川幸
		※桜が程よく咲いている大仙公園を歩きました。VR 体験ツアーも良かったとの意見でした。観光タクシーが、うまく対応できず時間がかかりました。お客様は、次の万博公園へ向かわれました。				
30	土	室蘭工業大学同窓会 関西支部	18名	14:00 16:30	仁徳陵 博物館 履中陵 大仙公園内古墳	橋本要
		※雨の為、一部変更し、御廟山やいたすけ古墳は、カットしました。その代り、博物館ではシアターと展示を見学しました。昨年は、利晶の杜をメインに旧市街をめぐり、好評だったので、今年は、古墳巡り。解散後の飲み会を催し大いに盛り上がったとお礼のメールをいただきました。				
		春爛漫さかい旅ツアー	42名	9:15 17:30	南宗寺 海会寺 利晶の杜 仁徳陵 博物館/VR 伸庵 法雲寺	小川喜 濱田
		※美原区の皆さん。旧市街は初めてとの事で楽しんでくださいました。 最終の法雲禅寺では雨の中、住職さんが駐車場までお迎えをして頂いたうえ、寺内の案内までして頂きました。皆さんとても喜んでおられました。				
		みんなく友の会 雑学サロン	12名	13:00 16:30	山口家 鉄砲鍛冶屋敷 清学院 伝産会館	谷崎
		※「おもてなしチケット」でチン電を楽しんでいる様子。鉄砲鍛冶屋敷も伝統産業会館も興味を持っておられました。山口家のひな人形にも皆様長いことご覧になっておられました。				
		神戸新聞社「語り部ガイドと 巡る歴史と文化の堺散策」	18名	10:00 16:50	鉄砲鍛冶屋敷 薫主堂 仁徳陵 南宗寺 利晶の杜 伝産会館 展望ロビー	松本潤
31	日	※姫路、神戸からの募集型ツアーでした。特別公開期間中で午前中は天候にも恵まれましたが、午後からは傘が必要になりました。利晶の杜ではお茶室でのお点前体験があり、有料施設の見学時間が短く残念。堺の見どころを目いっぱい詰めた行程でした。				
		JR 百舌鳥古墳群めぐり	20名	10:30 12:30	御廟山古墳 いたすけ古墳 履中陵 履中ビュー 大仙公園 仁徳陵	金谷
		※少し寒かったが、関東、滋賀県、兵庫県、大阪市からの皆様。桜も五分から満開。質問、メモを取りながらのハイキング。完歩の後、それぞれの所へ向かわれました。				
		御坊南海バス旅行センター	36名	13:15 16:20	博物館/VR 仁徳陵 利晶の杜	山端 竹原
		※さすが「歩こう会」の皆さん。お元気で気持ちの良き団体さんでした。皆さん旅慣れた方達で、まとまりよく楽しく回る事が出来ました。				
		東小浜小学校同窓会	12名	10:00 13:30	博物館 大仙公園 仁徳陵 利晶の杜	藤井英
		※大阪や兵庫県在住の方々。意外と堺にはお越しにならないので堺の歴史に加え大仙公園の桜を喜んでいただきました。桜もほぼ満開でご満足して頂けたと思います。				
		大阪いずみ市民生協 堺みなと委員会	37名	10:00 12:20	清学院 薫主堂/豊金商店 水野鍛錬所 テクネルーム 山口家 鳳翔館	牧 浅倉
		※あまりに沢山のひな飾りに驚きと感動の声。小さな子供たちもしっかり歩かれ地元の参加者さん同士も和気あいあいとお話しておられました。				

◆ 平成 31 年 3 月度 堺市博物館での『仁徳天皇陵古墳 VR (VR 体験ツアー)』

担当ガイドとお客様数 ※ 総件数 30 件 / 案内人数 1,449 人 / 担当ガイド 34 人

日・曜	1/金	2/土	3/日	5/火	6/水	7/木	8/ 金	9/土	10/日	11/月
ガイド 氏 名	山下昇	川上浩	西井健	柿澤 木村義	野澤	山田豊 宮尾	藤井英 中辻	奥野	小川正	森口
お客様	20 名	53 名	20 名	30 名	30 名	20 名	13 名	55 名	28 名	5 名
日・曜	12/火	13/木	14/木	15/金	16/土	17/日	18/月	19/火	20/水	21/木
ガイド 氏 名	中村博	木村義	國領	寺口	土井	小川正	奥野	山下昇	川上由	柿澤
お客様	13 名	52 名	20 名	28 名	60 名	107 名	10 名	29 名	25 名	54 名
日・曜	22/金	23/土	24/日	25/月	26/火	27/水	28/木	29/金	30/土	31/日
ガイド 氏 名	森口	西河 宮尾	土井	川上由	藤井英	木村義	柴田友	中村博	藤井英	森口
お客様	33 名	75 名	95 名	37 名	76 名	68 名	44 名	99 名	121 名	129 名

【一言】

- ・堺市津久野からの若い女性。いろんな古墳が謎だったのが、良く分かりました！「古墳ガール」一人誕生か！
- ・北海道、鳥取、名古屋、全国津々浦々からご訪問。造られた当時の質問がいっぱいされました。
- ・オーマンからの留学生。日本語が非常に上手でした。
- ・初めての VR 体験をされた大学生が、想像以上でしたと、感激されていました。
- ・来月から観光ボランティアの案内がなくなると説明すると残念がる方が多くおられました。

「VR体験ツアー」のボランティア案内終了のお知らせ

2017 年 8 月から 1 年 8 ヶ月、堺市博物館の VR コーナーで百舌鳥古墳ツアーの案内を行ってきました。昨年 9 月から外国人対応のため多言語化に伴い機械での案内も多くなってきました。この 3 月末でボランティアの案内を終了します。これまで約 2 万人のお客様に体験して頂きました。百舌鳥古墳群の事が良く分かったと感動されるお客様も多くいらっしゃいました。担当の皆様お疲れ様でした。